

ビジュアルコンピューティングセミナー2018-02

下記の要領で、今年度第2回のセミナーを開催しますのでご参集ください。

日 時：平成30年6月14日（木）14:45-16:15

場 所：慶應義塾大学矢上キャンパス 14棟 201号室

題 目：Visual Analytics

講 師：伊藤 貴之 氏（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授）

要 旨：科学技術可視化と情報可視化の垣根を払拭し、高度な意思決定に役立つ最先端のコンピュータ可視化技術として脚光を浴びている Visual Analytics (VA, 視覚分析論) 技術に関して、最先端の適用事例を用いて平易に解説する。マイクロブログや Web アクセスの事例を通して、同技術の必要性を論じたあと、D. Keim による VA マントラに基づいて VA の目的と対象を分類し、VA の一般的な処理ループアーキテクチャを規定する。さらに、理工学問題、ビジネス、環境監視、災害・緊急対策、セキュリティ、ソフトウェア、医学生物学、健康科学、人流・物流解析等の具体的な応用分野における VA の効果を具体的に説明する。最後に、VA に関する未解決課題 10 点を提起し、今後の望ましい研究開発の方向性について議論する。なお、本講演は英語を用いる。

講師略歴：1990年早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。1992年早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム(株)入社。1997年博士(工学)。2000年米国カーネギーメロン大学客員研究員。2003年から2005年まで京都大学大学院情報学研究科 COE 研究員。2005年お茶の水女子大学理学部情報科学科助教授。2011年同大学教授、現在に至る。可視化, CG, CAD, マルチメディアなどの研究に従事。

照会先：藤代（情報工学科, fuji@ics.keio.ac.jp）

Prof. Takayuki Itoh is currently a professor of graduate school of humanities and sciences at Ochanomizu University, where he is also serving as the director for Center for Simulation Sciences. He received his Ph.D. degree from Waseda University in 1997. Before joining Ochanomizu, he worked for many institutions, including IBM Tokyo Research Institute, CMU, and Kyoto Univ. His research interests include visualization, CG, CAD, and multimedia. Especially, he is known as a leading researcher in the field of information visualization and VA plus their applications to various problems. He is currently serving as the president of the Society for Art and Science, and have been responsible for a lot of international and domestic events.